

平成 26 年度 第 1 回三条市食育推進及び農業振興審議会 会議録

1 日 時 平成 26 年 11 月 20 日（木） 午後 1 時 30 分から午後 3 時 15 分

2 会 場 三条市役所 2 階 大会議室

3 議 事

(1) 副会長選出

(2) 報告事項

ア 第 2 次三条市農業活性化プラン 平成 25 年度実施状況及び平成 26 年度中間報告

イ 第 2 次三条市食育推進計画 平成 25 年度実施状況及び平成 26 年度中間報告

4 出席状況

(1) 出席委員

粟生田委員、坂井委員、佐野委員、金子委員、高野委員、高橋委員、星野委員、渡邊委員
太田委員、岩崎委員、清水委員、小林委員

(2) 欠席委員

神田委員、外山委員、佐久間委員

(3) 事務局職員

渡辺福祉保健部長

長谷川経済部長

健康づくり課 関崎課長、永井主幹、田村室長、阿部主査、大泉技師

農林課 藤澤課長、渡辺課長補佐、板垣室長、渡辺係長

(4) 傍聴者 なし

(5) 報道機関 なし

5 開 会 午後 1 時 30 分

会 長	新委員紹介（佐野委員、清水委員） 開会前に渡辺福祉保健部長より発言の申し出がありましたので、これを認めます。 渡辺部長お願いいたします。
渡辺部長	お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。本日議事の(2) 報告事項として農業活性化プランと食育推進計画について平成 25 年度の取組実績と平成 26 年度の取組中間報告をさせていただき、皆様から御意見をいただく予定です。各計画は来年度まで計画期間でございまして、来年度中に第 3 次計画を作成します。その準備を現在始めておりまして、来年の前半くらいには骨子案をお示ししたいと考えております。本日の会議は骨子作りに極めて重要な位置づけになりますので、皆様から御意見いただきたい

<p>会 長</p>	<p>と考えております。</p> <p>これから、平成 26 年度第 1 回三条市食育推進及び農業振興審議会を開催いたします。本日の出席を申し上げます。委員 15 名のうち、神田委員、外山委員、佐久間委員が欠席です。また太田委員からは遅れて出席という連絡をいただいております。現在 11 名の委員の出席があり、本審議会規則第 3 条の 2 に基づき、会議は成立しております。</p> <p>次に本日の資料につきまして、当日配布の資料がありますので、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局(阿部主査)</p>	<p>(資料の確認)</p>
<p>会 長</p>	<p>これより議事に入ります。まず初めに議題 (1) 副会長の選出です。</p> <p>これまで、副会長は皆川委員にお願いしておりましたが、この度、辞任されましたので、現在副会長は不在となっております。</p> <p>当審議会規則第 2 条により副会長は、委員の互選により定めることになっております。いかがいたしましょうか。</p> <p>(しばらくの間)</p> <p>みなさまからお声がないようであれば、私の方から指名させていただいてもよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>では、高野委員に副会長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
<p>会 長</p>	<p>御異議ないようですので、高野委員に副会長をお願いいたします。</p> <p>副会長より一言あいさつをお願いいたします。</p>
<p>副会長</p>	<p>消費者協会の高野と申します。この会議に出席させていただき、着実に三条の食育推進と農業振興が進んでいることを感じています。食べることはとても大切で、何をどう食べるかということ伝えていかななくてはいけないと思います。少しずつ食事を通して小さい子供さんから大人まですすめていくことは、やりがいのあることだと感じております。この会を有意義にするためにも、みなさんと一緒にがんばりたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、次に報告事項ア「第 2 次三条市農業活性化プラン 平成 25 年度実施状況及び平成 26 年度中間報告」を議題といたします。</p> <p>なお、次の報告事項イを含めまして、これまでの会議の進め方と同様に、事務局から</p>

	<p>の説明の後、まず説明内容について不明な点等の質疑を受け、それから意見をお受けするかたちで進めたいと思います。では、事務局の説明をお願いします。</p>
事務局(渡辺課長補佐)	(資料No.1、2、5を用いて説明)
会長	それでははじめに質問をお願いします。
渡邊委員	資料No.1の2ページ表の右上の「本年度」とは、平成25年度のことでしょうか。
事務局(渡辺課長補佐)	はい、25年度のことです。
高橋委員	<p>質問と意見をあわせて3つ教えてください。</p> <p>一つ目は、資料No.1の1ページに「海外販路開拓支援事業」がありますが、何度も問い合わせをさせていただいておりますが、内容を教えてください。私はモンゴルに米を送っていますが、三条市ではどのようなことをされたのでしょうか。二つ目は、下田のかぐらなんばんが海外に好評なようですので、ぜひ取り上げてもらいたい。三つ目は、マルシェは普通の祭りのようで、農業の色が少ないが、農林課で今後どのように考えているのか教えてください。</p>
事務局(渡辺課長補佐)	<p>海外販路開拓支援事業は、昨年度1事業者に対し、補助金を出しまして販路開拓事業を行っていただきました。香港やシンガポールに行かれたようです。三条産の米を扱っている業者が、現地の飲食店の米供給について試験的に取組をしている現状で、まだ確立できておりませんので、この事業を通じて販路を拡大できればと考えております。米と付随しまして、果物も検討されています。26年度も事業展開しておりますので、ほかの団体を含めて相談に乗っているという段階です。</p>
事務局(板垣室長)	<p>かぐらなんばんは山古志のほうで作られていて、下田では保存方法が開発されたようです。先般開催した農産物展示会でも好評で、商談があったようです。今後どんな対策をしていく必要があるか検討したいと思います。</p> <p>また、マルシェについてですが、これまで地産地消フェアという形で関わっていましたが、これだけでは地産地消は進まないのではないかと考え、今年度はフェアを実施せず、農産物展示会で業者と生産者を繋ぐ取組を行いました。</p>
坂井委員	<p>11月9日にJAのバックアップの下、渡辺係長からも来ていただき、勉強会を開きました。そこで出た意見が2つありました。一つは生産者がピーアールすることが下手なので、市からはピーアールをお願いしたいということです。もう一つは、海外に販売するための勉強会を開いてもらいたいということです。米余りの時代なので輸出を検討し</p>

<p>事務局（板垣室長）</p>	<p>てみたくても、実際、準備や企画についての手法を勉強することができません。ぜひ興味がある若い生産者に知らせていただきたいと思います。</p> <p>ピーアールについて、現在、学校給食関係で東京都内の荒川区などに三条米をピーアールしています。</p> <p>輸出については、補助金により企業にお願いしていますが、勉強会を実施することで販路拡大するようであれば、今後検討していきたいと思います。貴重な御意見ありがとうございます。</p>
<p>事務局（渡辺係長）</p>	<p>ピーアールについて、農業者自身がどうしていくかという点について、農業担い手育成塾においてマーケティングについて学習する機会を設けています。次に繋げていくために販売の仕掛けを重層的に、また戦略を対象にあわせて検討するということを学びます。育成塾は全 13 回で、現在 8 回まで終了しています。非常に好評を受けておりまして、ほとんど欠席者は出ておりません。引き続き継続させていただき、農業者が販売技術を獲得して販路拡大することも一つの手法と考えております。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>学校教育田について質問です。平成 25 年度は 21 校で、平成 26 年に 19 校に減少したのは理由がありますか。</p>
<p>事務局（渡辺課長補佐）</p>	<p>小学校の統合の関係で四日町、条南、南小学校が嵐南小学校に、森町と荒沢小学校が森町小学校になり、学校数が減少しました。</p>
<p>金子委員</p>	<p>資料No.1 の 6 ページにある「人・農地プランの推進」について、先日このことについて私の地区で説明会がありましたので、出席させていただきました。耕作して欲しいという方には補助が出るようですが、担い手のほうには手当てが薄いなという印象を受けました。農家をやめていく方のスピードが速く、受け皿が無いような状態になっておりますので、兼業農家を専業農家にすることも考えてもらいたいと思いました。これを行うには、農地中間管理機構を利用することになると思います。地代について、今年は米価が急落しているので、それに見合った地代設定を考えてもらいたいです。</p>
<p>事務局（渡辺係長）</p>	<p>三条市の次期総合計画では専業農家の育成について検討を進めているところです。貴重な御意見ありがとうございます。また、地代につきましては、私どもの立場では対処が難しいですので、現状で様子を見ながら進めていただきたいと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>それでは、他に無いようであれば、終了させていただきますが、いかがでしょうか。 (しばらくして無し)</p>
<p>会 長</p>	<p>異議なしと認め、終了いたします。</p>

会 長	それでは、報告事項イ「第2次三条市食育推進計画 平成 25 年度実施状況及び平成 26 年度中間報告」について事務局の説明をお願いします。
事務局(大泉技師)	(資料No.3、4、6、7を用いて説明)
会 長	それでは、質問をお願いします。
副会長	資料No.7の17ページの参考グラフで、三条市内消費者の野菜購入先の調査結果で「購入しない」人が5.8%あるのですが、買い物をしないということなのでしょう。
事務局(板垣室長)	これは農家や、家庭菜園している人だと考えられます。
佐野委員	今の質問と同じページで、今後の方向性について「地産地消推進店制度と連携し、直売所独自の魅力を活かした情報発信」とありますが、考えていることはありますか。
事務局(板垣室長)	まだ具体的には考えておりませんが、良質堆肥を使った農産物などは好評ですので、消費者に農産物の良さを伝える工夫を検討しながら進めていきたいと考えています。
渡邊委員	資料No.7の2ページの中学1年生の朝食欠食率が、平成25年度で跳ね上がっていますが、この原因はわかりますか。
事務局(田村室長)	この学年のデータは全体的に良くなかったのですが、朝食欠食の習慣化が懸念されますし、先ほども説明したように、就寝時間が遅くなっていることも関係していると考えています。
渡邊委員	平成25年度が跳ね上がっているだけなのか、今後も上がる、もしくは維持になるのか、それは今後の傾向を見ていくということでしょうか。
事務局(田村室長)	数値は高くなったり、低くなったりすると思いますが、全体の傾向がどのように変化するか見る必要があります。私どもとしましては啓発に力を入れて全体を下げたいと考えています。
星野委員	まちなかで朝ごはん事業は、食べに行くのか、それとも配達されるのでしょうか。
事務局(田村室長)	北三条駅周辺に二・七定期露店市がありまして、そちらでテントをたてて朝食を提供しました。

渡邊委員	まちなかで朝ごはんですが、11月までということですが、12月など冬場はどうするのでしょうか。
事務局(田村室長)	今ほど御説明しましたように、外で実施しておりますので、冬場は寒いです。最終日の11月7日も寒かったです。室内実施も検討しましたが、適切な場所が見つからなかったため11月で終了にしました。また、来年5月から再開する予定で考えています。
太田委員	資料No.7の3ページで、睡眠時間の関係グラフがありますが、具体的に平均何時間寝ているのかわかりましたら、教えていただきたいと思います。また、一番下の体調不良等のグラフで「疲れる」と感じる子供が半分程度いることも、どういうことなのかなど感じてしまいました。併せてわかることがありましたら教えてください。
事務局(田村室長)	申し訳ありませんが、平均睡眠時間については把握しておりません。疲れる理由につきましても不明ですが、朝食状況の有無や共食状況によって体調の差があることはわかっております。
会長	それでは、御意見をお願いします。
坂井委員	先日、朝食の大切さについてのテレビ番組がありました。朝食を欠食している人は10年後に必ずと言っていいほど糖尿病になるそうです。健診には空腹で行くので異常は無いですが、その後昼食と夕食をたっぷり食べるようになるそうです。そういう生活を10年続けた結果、糖尿病の症状が出て受診する人がいるようです。各年代に朝食の大切さをぜひ訴えてもらいたいと思います。 内容も肉ばかりでなく野菜もしっかり食べることが大切なようですので、乳幼児期をはじめ各年代に伝えてもらいたいと思います。
事務局(関崎課長)	食育の取組につきまして、乳児期から壮年期まで、関係機関と一緒に、朝食の重要性や食べ方について重点的に取り組んでいきたいと思っています。ありがとうございます。
渡邊委員	米飯についてですが、三条市の小中学校では完全米飯給食になっています。 娘が高校生になり、運動部の練習が朝から夜まで量が多くなりました。娘が言ったことは、とにかくごはんにして欲しい、ということでした。時間が無いからパンでよいかと言っても、ごはんを希望します。米飯給食で育ったことが関係しているかと思いますが、子供は腹持ちの良さを実感しています。このまま米飯給食を続けてもらえたらと思います。
事務局(田村室長)	資料No.7の12ページを御覧ください。上から3つ目のグラフはJA全中の調査です。20歳代でごはんを食べている割合が他年代よりもかなり高くなっています。これを受

副会長	<p>けまして、新潟日報のコラムで、20 歳代の人たちは、ちょうど米飯給食が週3回になった世代であり、そのことが影響しているのではないかということが掲載されていました。三条市でも米飯給食を続けて10年近くになりますが、20歳代の人々がどのように変化しているのか、調べるのができたらと思います。御意見ありがとうございます。</p> <p>ただ今、給食の件が出ましたのでお聞きしたいのですが、給食での牛乳の件はどうなっているのでしょうか。私個人としては賛成ですが、いろいろ意見が出て関心を持っていただくことは良いことだと思っています。市としていかがでしょうか。</p>
事務局(田村室長)	<p>この件につきましては教育委員会の所管ですが、簡単に御説明します。</p> <p>三条市では牛乳が悪いとは言っておりません。給食の主食が米飯であるため、保護者から牛乳が合わないのではないかという御意見がありました。そして給食運営委員会でも取り上げ、この12月から4か月間試行的に牛乳の提供を停止します。その試行期間はカルシウム等の栄養素は、牛乳があるときと同じだけ提供するように、食育推進室栄養士や調理場栄養士が知恵を絞って献立を考えました。栄養価のそろった献立の中で子供たちがきちんと食べてくれれば、大きな問題はないと考えていますが、検証した中で新年度1学期にその後の方向を決めていく予定です。</p>
会 長	<p>私のほうから意見ですが、資料No.7についてですが、これはすごい資料だと思いました。ただ、もう少し捻ると更に良い資料になると思います。一つはグラフデータの標本数(n値)を入れると良いと思います。どのくらいのデータ数か説明があると良かったです。もう一つは、4ページの表について「χ^2検定」の説明やp値の意味を伝えることができる、資料の意味が深まって良いものになると思います。</p>
事務局(田村室長)	<p>アドバイスありがとうございます。作成した職員に確認したところ、「χ^2検定」は、比較したい2つの事項の数値をある数式にあてはめるとp値が出て、その数値が小さいほど、相関関係があるそうです。アスタリスクの数が多いほど相関関係が強いそうです。どうぞ参考にしてください。</p>
会 長	<p>いずれにしろ、すごいデータですので、継続してもらいたいですし、この審議会で議論していることは、レベルの高いものですので、委員の皆様もわかっていたいただきたいです。また、事務局も自覚を持って、パイオニアとしてがんばってもらいたいと思います。</p>
事務局(関崎課長)	<p>ありがとうございます。先ほど太田委員さんからもお話がありましたが、睡眠時間の調査など、データをより良いものにするためにアンケートのとり方等について、御意見がございましたらお願いしたいと思います。</p>

会 長	<p>それでは、他になければ、以上で終了させていただきますが、いかがでしょうか。 (異議なし) 異議なしと認め、終了いたします。</p>
会 長	<p>予定されている議事は以上ですが、その他に御意見、御質問はありませんか。 無いようですので、次第3 その他 に入ります。事務局、何かありますでしょうか。</p>
事務局(板垣室長)	<p>(三条まんま塾「気軽に農業体験」「農産物展示会」の紹介、第18回新潟県環境保全型農業推進コンクール県知事表彰の紹介)</p>
事務局(田村室長)	<p>(三条まんま塾組織について説明)</p>
会 長	<p>せっかくですので、委員のみなさんから、本日の感想を頂戴したいと思います。</p>
小林委員	<p>いつも緊張していましたが、来てみると、食べるのがとても大事なことだと改めて知ることができ、子育てをしている自分にとってはとても勉強になります。私のような年代の母親が本日のような資料に触れる機会がもっとあれば、朝ごはんが大事だと気がつくのではないのでしょうか。今、学校でも早寝早起き朝ごはん週間をしていますが、朝ごはんがどれだけ大事か、欠食するとどれだけ大変なのかを知らせると、母親が理解を深めることができ、子供たちにも良い影響があると思います。もっとたくさんの人たちに知ってもらえたらと思います。</p>
清水委員	<p>市も私たち農協と同じような課題を持っているのだなと感じました。改めて連携しながら進めていきたいと思っています。金子委員さんも言われておりましたが、これからは農家さんへの支援をもっと強化していただけないかなと思います。また、食育の部分では、親と一緒に住んでいない世代では、わかっていながら朝食を欠食することが多いようですので、こちらも併せて連携しながら進めていければと考えています。</p>
岩崎委員	<p>本日は、いろいろな話を聞くことができ、大変参考になりました。校長会でも話を出したいと思っています。家庭環境や地域の環境などと連携し、総合的な取組として進めていければと思います。</p>
太田委員	<p>これまで食育推進と農業の振興について同時に行う会議に出席するのは初めてでしたが、一緒になって検討していくことは素晴らしいことだと感じました。また、食事がとれないことは生活リズムや家庭環境などが関係していることが多いと思いますので、睡眠状況など幅広いデータを見られると良いと感じました。それと、先ほど20歳代の米食が増えてきているというお話がありましたが、乳幼児期からの早い段階での働きか</p>

渡邊委員	<p>けが大事になってくるのではないかと思います。三条市さんは早い時期から取組されていますので、検証等されると良いなと思います。本日はありがとうございました。</p> <p>先ほど小林委員さんが言われたように、食育は気にしなければ済んでしまうのですが、食べることは一生続くことです。子供が食に興味を持つように仕向けるのは親の力だと思います。食に興味を持っていない保護者にも興味を持ってもらうように、仕向ける作戦を PTA でもできたらと思いました。</p>
坂井委員	<p>私は農業者の代表として参加させていただいており、農業者の所得は大事だと思っており、先ほど意見を述べさせていただきました。こういった会を通して三条市に訴えながら、農業や食の大切さを広めてもらいたいと思いました。</p>
佐野委員	<p>三条まんま塾の会員になってから、益々、農業と食の大切さに気づきました。良いとわかってはいるけどできない、という人が多いと思います。こういう会を通じて一人でも多くの方が、朝食の大切さや栄養バランスについて気づいていければと思います。ありがとうございました。</p>
金子委員	<p>新聞やニュースでも米は余っているという話ばかりでしたが、この会でごはんは大事だと聞いて大変うれしく思っています。また来年から、おいしいお米を作ろうというやる気が出ました。ありがとうございます。</p>
高橋委員	<p>私は農業を活性化するために「農商連携」の観点でがんばらせていただいています。農業関係について話をすることができましたので、これからも農業活性化のためにがんばっていききたいと思います。ありがとうございました。</p>
星野委員	<p>私は生ごみで堆肥を作っており、農業と関係ある仕事をさせていただいております。会社辞めて農業をしようという魅力あるものにするためには、新しい農作物をブランド化したり、‘雪国のバナナ’のような、ここでしかできない農作物で、人が集まってきたり、おいしくて安い品物が全国に出回ったりするのではないかと思います。新規農業者を募集したり、指導したりを行政でやっていただければいいのかなと感じています。こうしてできた農産物と食育が連携して、糖尿病予防に良い、肥満になりにくいなどが言えるようになると更に良いと思います。本日はありがとうございました。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。以上で本日用意した内容はすべて終了しました。</p> <p>以上をもちまして、平成 26 年度 第 1 回三条市食育推進及び農業振興審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>

6 閉 会

午後 3 時 15 分